旭化成・営業秘密漏えい事件に学ぶ内部不正リスクと防衛策

事件の構造と内部不正のメカニズム

退職から開示まで約6年の「タイムラグ型」漏えい

2018年の退職時持ち出しから2024年の海外開示まで長期間経過。



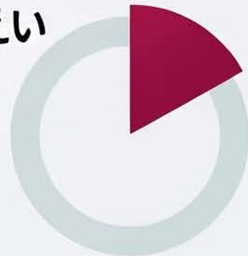
承認欲求と経済利益が絡む複合的動機

専門性の証明や待遇・地位維持を目的に手渡したと供述。



中途退職者による漏えい経験企業は17.8%

17.8%



IPA調査によれば現職・退職者を介した人的リスクが主要要因。

再発防止に向けた3つの実務対策



退職申告前からの「ログ遡及分析」を実施

数か月前まで遡り、大量ダウンロードや異常アクセスの監視・監査を行う。



具体的で有効な「秘密保持誓約」と端末徹底回収

対象情報と禁止事項を明確化し、貸与PC・記録媒体を確実に回収。



経済安全保障経営としての取締役会管理

単なるIT対策にとどめず、経営レベルの独立リスク（KRI）として評価。

Gemini Notebook